

ファッション/カルチャー/アート分野のVRコンテンツを募るグローバルアワード
「NEWVIEW AWARDS 2019」新たな4つの賞詳細が決定！

KMNZ（ケモノズ） / 松武秀樹 / Media Ambition Tokyo / PARCOとのコラボレーション
-受賞者にVRクリエイターとして活躍できる機会を提供-



株式会社パルコ（本部：東京都渋谷区）、株式会社Psychic VR Lab（東京都新宿区）、株式会社ロフトワーク（東京都渋谷区）による共同プロジェクト「NEWVIEW（ニュービュー）」は、2019年7月から公募をスタートしているVRコンテンツアワード「NEWVIEW AWARDS 2019」の新たな賞（PRIZE）が決定しました。



Media
Ambition
Tokyo

PARCO

左：KMNZ(VTuberのガールズHIP HOPユニット) / 中央：松武秀樹氏(音楽家) / 右：Media Ambition Tokyo・PARCOロゴ

今回新たに詳細が決定した4賞は、VTuberのガールズHIP HOPユニットのKMNZ（ケモノズ）、音楽家の松武秀樹氏、テクノロジーアートの祭典Media Ambition Tokyo、PARCO、それぞれとのタイアップをする権利で、受賞者へはコラボ作品の制作や展示を行う権利が進呈されます。

本アワードは、すべてのクリエイターが3次元の空間表現（VR）を手にする近未来に先駆け、新たな表現やカルチャー/ライフスタイルを追求し、「超体験のデザイン」を牽引する次世代クリエイターを発掘することを目的としています。

追加発表した各種PRIZEはいずれも受賞クリエイターに活躍のフィールドを提供する内容となり、受賞後のVRクリエイターとしての活動を支援するものとなります。

新たな4つの賞詳細が決定！

新たに詳細を発表した賞は、KMNZ(ケモノズ) / 松武秀樹 / Media Ambition Tokyo / PARCOとのコラボレーション作品制作・展示などの権利を得られるもの。

■KMNZ PRIZE：コラボ作家デビュー

KMNZ PRIZEは、VTuberのガールズHIP HOPユニット「KMNZ」の配信映像への採用や、衣装デザインを着た2Dアートを各種イメージとして採用するコラボレーション権利が進呈されます。コラボレーション作家としてクレジットされ、プロモーションにも活用されます。

また、本PRIZEの受賞対象作品は下記になります。

<テーマ>

A. KMNZの世界感にあわせた、ストリート調のVR空間デザイン

※ライブハウス、クラブ、ストリートの街並みなど

B. 近未来のストリートをテーマにした、KMNZの衣装デザイン

※ VRoid, CLOを活用する事を想定

**■HIDEKI MATSUTAKE PRIZE：VRコンテンツを共同創作**

松武秀樹賞 (HIDEKI MATSUTAKE PRIZE) は、音楽家/シンセサイザー・プログラマー/プロデューサーである松武秀樹氏が作り出すシンセサイザー・サウンドとのコラボレーションにより、オリジナルのVRコンテンツを共同創作できる権利が進呈されます。

完成したコンテンツは、音楽業界やカルチャー業界などでPRすることができます。

こちらもKMNZPRIZEと同じく、クリエイターにとって活躍のフィールドを拡張できる賞になります。



© Photo by Sukita

■Media Ambition Tokyo PRIZE：「Media Ambition Tokyo」に出展

Media Ambition Tokyo PRIZE は、最先端のテクノロジーカルチャーを実験的なアプローチで都市実装するリアルショーケース「Media Ambition Tokyo」での作品展示ができる権利が進呈されます。

未来を創造するテクノロジーの可能性を東京から世界へ提示する祭典で、自身のクリエイションをアピールすることができます。

**■PARCO PRIZE：コラボレーション作品を制作・渋谷PARCOに展示**

PARCO PRIZEは、パルコとコラボレーションした3D作品を制作し、渋谷PARCO (2019年11月下旬開業予定) にARで展示する権利が進呈されます。

パルコは本プロジェクトで発掘されたクリエイションをリアルで発信する場を提供することを通してクリエイター支援を行っており、「NEWVIEW AWARDS 2018」でPARCO賞を受賞のVR空間デザイナー・Discont氏のインスタレーション作品を渋谷PARCOでの展示を予定し、現在制作を進行しています。

本PRIZEの受賞者はDiscont氏と同様に、渋谷PARCOで作品を披露する機会を得ることができます。

©2019, Takenaka Corporation

**審査員も新たに追加！**

台湾のクリエイティブスタジオ「Bito」創業者でクリエイティブディレクターのKeng-Ming Liu氏が決定！

追加発表となった審査員は、台湾のクリエイティブスタジオ「Bito」創設者でクリエイティブディレクターの、Keng-Ming Liu氏。台湾を代表するクリエイティブディレクター、映像ディレクターとして活躍、多くの学問分野を横断するような試みに取り組み、モーションデザインと人間の関係性を再定義することを目指す彼が、世界中からエントリーされたVRコンテンツを審査します。



NEWVIEW AWARDS 2019 概要

<https://newview.design/awards/2019/jp>

■募集対象

VR空間を駆使した新たな表現・体験を生み出せるクリエイティブプラットフォーム「STYLY」を使って制作・公開されたVRコンテンツ作品が対象です。制作プロセスにおいてSTYLY以外のツール（3DCG、ゲームエンジン、DAW etc.）を使用することは構いません。すでに発表済みの作品も応募可能です。

* 「STYLY」 オフィシャルサイト：<https://styly.cc/>

■賞について

- ・ゴールド / Gold Prize (1作品) 賞金 20,000USD
- ・シルバー / Silver Prize (3作品) 賞金 5,000USD
- ・PARCO Prize (1作品) PARCOと3D作品を共同制作し、渋谷PARCOに展示する権利
- ・KMNZ Prize (1作品) コラボ作家デビューができる権利
- ・HIDEKI MATSUTAKE PRIZE (1作品) 松武秀樹氏とVRコンテンツを共同創作できる権利
- ・Media Ambition Tokyo PRIZE (1作品) Media Ambition Tokyoに作品出展できる権利

■スケジュール

- ・募集期間：2019年7月1日（月）12:00～ 2019年9月30日（月）12:00（日本時間正午）
- ・一次審査結果発表（ファイナリスト40作品選出予定）：2019年10月中旬
- ・ファイナリスト作品展示・授賞式：2019年11月下旬～12月予定(会場：渋谷PARCO※11月下旬グランドオープン)
- ・最終審査結果発表：2019年12月予定

■スポンサー



■パートナー



■メディアパートナー



■サポーター



■主催：NEWVIEW PROJECT



■審査員(順不同)

夢眠ねむ (ゆめみねむ) / 夢眠書店 店主・キャラクタープロデューサー

たぬきゅんをはじめ様々なキャラクターデザイン・プロデュースを手掛ける。映像監督や脚本、コラム執筆、作詞など多岐にわたり活動中。

▶多摩美術大学 卒業。

▶でんば組.inc 卒業。



Keiichi Matsuda / デザイナー・映像作家

デザイナー兼映像作家。彼の作品はロンドンのヴィクトリア&アルバート博物館からニューヨーク近代美術館まで広く展示されている。インターネット上での評価も高く、『HYPER-REALITY』などのショートフィルムによってカルト的なフォロワーを獲得している。同作はVimeoの「年間最優秀ドラマ賞」などの様々な賞を受賞しており、また彼が2018年にLeap MotionのVP Designに取り組んでいた頃に、Next Realityは彼をARのインフルエンサーのトップに選んでいる。

彼はデザインを「技術と文化の未来を探求する道具」と捉え、ストーリー映画製作や、XRのコンセプトチュアルなインタラクティブデザインにおいても、「仮想と物理の狭間に存在する現実の新たな展望を描こうとしている。



Nick DenBoer / 映像作家

カナダのトロントを拠点とする映像作家。独特なVFXコメディのブランドを展開し、ビデオリミックスとアニメーションの技術を融合してシュールで不条理な映像作品を生み出す。過去にはコナン・オブライエンの番組のポップカルチャーパートの制作とリミックスを行うライター兼クリエイターも勤めた。彼の斬新なショートフィルム『The Chickening』(スタンリー・キューブリックの『シャイニング』の鶏リミックス版)はTIFFとサンダンス映画祭のスクリーンで上映されており、独特のスタイルの映像表現で活動の幅を広げ、Old Spiceやケンタッキーフライドチキンの広告、Deadmau5やFlying Lotusのミュージックビデオとツアービジュアル、無数のTV番組、映画、ウェブ、VRのプロジェクトの監督・制作も行なっている。



Lu Yang / アーティスト

上海に拠点を置くマルチメディアアーティスト。中国美術学院のニューメディアアート学部卒業。アニメ、ビデオゲーム、SFといったサブカルチャーに造詣が深い彼女が生み出す作品は、3Dアニメ映画、ビデオゲーム、インスタレーション、ホログラム、ネオン、VR、ソフトウェアなど多岐にわたる。彼女の作品は人類のもろさを扱った独特なファンタジーの創造であり、ジェンダーレス社会を広める仏教から出発する彼女は自分自身の無性な像を表現するための手段として自らの姿を用いている。彼女の作品はパリのボンピドゥーセンター、北京の木木美術館、上海ビエンナーレ、アテネビエンナーレで展示されている。



Keng-Ming Liu / Bito創業者兼クリエイティブディレクター

Summer Universiade、Golden Melody Awards、そしてGolden Pin Awardの映像のクリエイターとして、Liuの優れた視覚表現とオリジナリティ溢れたアジアの視点は世界的な注目を集めている。

また創業者であるLiuの下、Bitoは2つのADC賞を受賞。近年、Liuは多くの学問分野を横断するような試みに取り組んでおり、モーションデザインと人間の関係性を再定義することを目指している。



倉本美津留 / 放送作家

「ダウンタウンDX」「M-1グランプリ」「浦沢直樹の漫勉」「アー!!ット叫ぶアート Ah!!rt」NHK Eテレの子ども番組「シャキーン!」など、数々のテレビ番組手がける。これまでの仕事に「ダウンタウンのごっつええ感じ」「伊東家の食卓」「たけしの万物創世記」「EXテレビ」他。著書に「ことば絵本明日のカルタ」「倉本美津留の超国語辞典」「笑い論 24時間をおもしろくする」。



大月 壮 / 映像作家 / 映像ディレクター

「アノ手コノ手な幅広い制作手法」と「斜め上のひらめき」を掛け合わせながら、POPさが通底した作品を制作。近年はピクセルアートを用いた映像演出を得意としている。MV、広告といった商業映像制作を中心に活動。近作に、サザンオールスターズ「戦う 戦士たちへ愛を込めて」MV(第22回文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品)、YUKI「やたらとシンクロシティ」MV、UNIQLO「UT × STREET FIGHTER」AD。オリジナル作では「アホな走り集」(第15回文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品)が有名。清水イアンと環境問題専門のクリエイティブチーム「NEWW」を主催。



豊田 啓介 / 建築家 (noiz)

1972年、千葉県出身。96年、東京大学工学部建築学科卒業。96-00年、安藤忠雄建築研究所を経て、02年 コロンビア大学建築学部修士課程(AAD)修了。02-06年、SHoP Architects(ニューヨーク)を経て、2007年より東京と台北をベースに建築デザイン事務所noizを蔡佳萱と共同主催(2016年より酒井康介もパートナー)。コンピューテーショナルデザインを積極的に取り入れた設計・製作・研究・コンサルティング等の活動を、建築からプロダクト、都市、ファッションなど、多分野横断型で展開している。現在、台湾国立交通大学建築研究所助理教授、東京芸術大学アートメディアセンター非常勤講師、東京大学建築学科デジタルデザインスタジオ講師、慶應義塾大学SFC非常勤講師。



谷口 暁彦 / アーティスト

多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース講師。メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表している。主な展覧会に「[インターネット アート これから]——ポスト・インターネットのリアリティ」(ICC、2012)、「SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016」(ソウル市立美術館、2016)、個展に「滲み出る板」(GALLERY MIDORI. SO、東京、2015)、「超・いま・ここ」(CALM & PUNK GALLERY、東京、2017)など。



NEWVIEWについて

NEWVIEWは、3次元空間での新たなクリエイティブ表現と体験のデザインを開拓する実験的プロジェクト/コミュニティとして2018年1月に始動。ファッション、音楽、映像、グラフィック、イラストレーションなど、都市空間におけるカルチャーを体現するクリエイターとともに、リアルと空想を越境する次世代のカルチャー/ライフスタイル体験をデザイン する実験、国内外でのレクチャーやミートアップを通じて次世代のVRクリエイターの発掘・育成・交流活動を展開しています。

<https://newview.design>



NEWVIEW AWARDS 2018の実績

<https://newview.design/awards/2018/jp>

ファッション/カルチャー/アート分野のVRコンテンツアワードとして初開催した昨年の「NEWVIEW AWARDS 2018」は、世界7ヶ国219作品ものエントリーとなる盛況となりました。グランプリとなるGoldPrizeは、バーチャル美術家えもこ氏の「EMOCO'S FIRST PRIVATE EXHIBITION」が受賞しました。

■ Gold Prize

EMOCO'S FIRST PRIVATE EXHIBITION

作者：えもこ（バーチャルYouTuber /バーチャル美術家 | 日本）

バーチャルYouTuberのえもこのVRアートとその描画工程の映像を鑑賞できる「バーチャル個展」。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/emocos-first-private-exhibition-jp>

■ Silver Prize

EMMA VR: PAINTING LIFE

作者：Wyatt Roy（コマーシャル映像作家、VRアーティスト | アメリカ）

芸術作品の背景にいるアーティストを実感し、絵画の背景にあるストーリーを知る機会を提供する作品。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/emma-vr-jp>

IMMERSIVE PHOTO EXHIBITION "美少女は目で殺す"

作者：chiepomme & Albina Albina & APOLIA（アートユニット | 日本）

小さな世界で紡がれる、少女たちの物語をPhotogrammetry を用いたプロップ、Mirage Camera を用いた 180° 立体視写真で表現した作品。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/immersive-photo-exhibition-jp>

MAILLOTS DE BAIN

作者：Mask du Video（映像作家 | 日本）

ゾートロープをモチーフに、現実社会と同じようにフロントエンドとバックエンドの役割が相互にリンクして一つの世界が組み上がっている様子を表現。

* 作品紹介ページ：<https://newview.design/maillots-de-bain-jp>

■ PARCO Prize

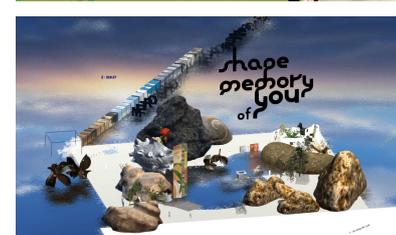
身体の形状記憶装置 -SHAPE MEMORY OF YOU-

作者：Discont（VR空間デザイナー | 日本）

VRの中で喪失してしまった身体と身体感覚を取り戻すことを目指した実験的な試み。

身体の実在感を想起させ、身体感覚を揺らがす7つのインスタレーションを用意。

作品紹介ページ：<https://newview.design/shape-memory-of-you-jp>



お問い合わせ

NEWVIEWについて：NEWVIEW AWARDS 2018 事務局（担当 原、尾方） info@newview.design

パルコについて：株式会社パルコ 広報・IR担当（担当：吉田）03-3477-5710

プレスリリースやロゴなどが入った、プレスキットは以下よりダウンロードください。<http://bit.ly/33gcdX1>